

令和2年第3回小国町教育委員会会議録

- 1 開催年月日 令和2年4月7日(火)
- 1 開催の場所 おぐに町民センター 2階会議室
- 1 開 会 4月7日 午前10時00分
- 1 閉 会 4月7日 午前10時37分
- 1 出席委員 教 育 委 員 田代篤雄君
教 育 委 員 梅田聖子君
教 育 委 員 千明和浩君
教 育 長 麻生廣文君
- 1 欠席委員 教 育 委 員 横尾祐輔君
- 1 出席職員 事 務 局 長 木下勇児君
事 務 局 次 長 久野由美君
(社会教育係長兼務)
学 校 教 育 係 長 後藤栄二君

議事の経過 (R2.4.7)

教育長（麻生廣文君） おはようございます。ただいま、出席委員は4人です。定員数に達しておりますので、令和2年第3回小国町教育委員会会議を開催いたします。

(午前10時00分)

教育長（麻生廣文君） 議事日程につきましては、お手元に配布してあるとおりです。

日程第1「会議録の署名の指名について」は、小国町教育委員会会議規則第19条第2項の規定により、本日出席の教育委員全員及び会議録を調整する職員の署名とします。

日程第2「会期の決定について」お諮りいたします。会期は本日1日といたしたいと思いますが、これに異議ございませんか。

教育委員（全員） はい。

教育長（麻生廣文君） 異議なしと認めます。よって会期は本日1日と決定いたします。それではこれより議事に入ります。

日程第3「感染症予防対策について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局長（木下勇児君） 議案集をお願いします。報告第1号 感染症予防対策について、感染症予防対策について別紙のとおり報告する。令和2年4月7日提出 小国町教育長 麻生廣文です。

(発言詳細は省略、資料に沿って次の内容を説明する。)

- ・令和2年4月6日付け、小国町長名で発出の「阿蘇管内での新型コロナウイルス感染例の確認に伴う対策本部設置について」
- ・令和2年4月5日付け、熊本県健康福祉部健康危機管理課発出の「新型コロナウイルス感染者の発生について（報道資料）」
- ・令和2年4月6日付け、熊本県教育長名で発出の「新型コロナウイルス感染症に関する臨時休業及び教育活動の再開について（通知）」
- ・令和2年4月6日付け教政第6号、熊本県教育長名で発出の「新型コロナウイルス感染症に関する県立学校における臨時休業及び教育活動の再開について（通知）」
- ・小国町教育委員会事務局取りまとめの「コロナウイルス感染症対策に伴う各施設の現状と方向性」

教育長（麻生廣文君） ただ今の事務局からの報告事項について、質問あるいはご意

見等があればお願いします。

教育委員（田代篤雄君） 先ほどの詩吟の件ですが、熊本で大きな大会があるそうです。その他大会の音響の依頼があって断ったのですが、大会や打ち上げはすると言っていました。支部単位で練習をしているようです。高齢者が多い。どうかできないのかな。

教育長（麻生廣文君） 情報として伺います。ありがとうございます。他ございませんか。

教育委員（千明和浩君） 学校の再開の件ですが、先週に保護者の方から何人か、お子さんを学校に行かせること自体に不安があるという方がいらっしゃったんですけど、その後に阿蘇管内で感染者が発生してまして、より不安になっている状況ではないかなと思います。先ほど事務局長からプライバシーの関係で、どこどこで発生したということが言えないということでしたが、その情報がない感じだと、阿蘇管内には小国町も含まれておりその不安は益々大きくなってきていると思います。そこで、不安を解消するために、なんで学校をやっても大丈夫なんだというメッセージを教育長なり町長なり校長先生なりから明確にこういった理由があって学校を再開しますということを伝える必要があると思っている。どういうことがあったら学校をストップするとか、並びに町長がご自身で言ってらっしゃって、自分の命は自分で守っていただくということを言ってるってことは、学校に行かない選択肢もあるのではないかなと、それも選択肢として与えてやるということで、その不安感を消してやってやるということも必要なのではないかな。

感染者は全国でいっぱい出ているんですが、人口に対する割合を調べてみると、一番危険だといわれている東京都が1万2千人に一人、熊本県が20人で8万7千人に一人、阿蘇管内では2人発生しているので3万人に一人、県内でも阿蘇の比率は高いのではないかなと思います。単純にこれで比較していいのかということもあると思いますが、福井県は人口に対する感染者の割合が高いのですが、これが1万3千人に一人というデータも参考にさせていただきつつ、どのレベルになったらどの対策までするのかという指標を持っていけば、これが3人になったらとか、実は世界的に子供の集団感染はないんですね、これには理由があると思うのですが、ある医学者の方がいうには、子供の免疫があがっている最中で、完全に出来上がってしますと免疫が強すぎて、ウイルスを攻撃しすぎて体に負荷が掛かって、より発症するという方をいっている方もいらっしゃって、そういった情報がない状態で、不安になっていると思うので、いかにそのきちんとした情報を伝えてやるかということが重要なのではないかと最近思っています。

教育委員（梅田聖子君） 不安の中で学校にやる、学校が始まるからやるのではなくて、今はこういう形なのでこうしますと、ここに来たらストップしますとか、なん

かその段階のレベルの情報を決めてほしい。

教育委員（千明和浩君）　そうすることで安心感は若干あると思う。感染してしまったらどっちでも一緒だと思うが、不安がありながら子供を送り出すのと、ある程度まだ大丈夫なのかなと思っていただく部分で違うのかなと思います。

教育委員（梅田聖子君）　何にも思わない人は何も思っていないし、すごく敏感な人はこんな感じで言うてる。

教育委員（千明和浩君）　お仕事されている方は、ずっと子供の面倒を見ていて、ようやく仕事に復帰できるという方もいらっしゃると思うので、そこは様々なんだと思うんですけど。

教育委員（田代篤雄君）　コロナウイルスが細胞を攻撃するのではなくて、正常な細胞を攻撃するのは免疫細胞なので、今おっしゃるとおり、免疫細胞が多い大人ほど免疫細胞も壊してしまうのであつという間に重症化してしまうとホームページに書いてありました。

教育委員（千明和浩君）　逆に言うと、高齢者の方はその免疫が下がっているの、そこについていうことも言われている。小国町は人口6千600人、これに一人出ると6千人に一人というのは今のところない。東京が千人居るんですが、2千人ぐらいになるとそのレベルで、非常に私の中で危機感がある。もし仮に感染者が出た場合、密集度合いがあるので単純に比較はできないと思いますが、人口の多い中の一人と人口の少ない中の一人では意味合いが違うのかなと思っています。

教育委員（田代篤雄君）　でも今は比率で行くしかないですもんね。それしか拠り所はないと思います。

教育委員（千明和浩君）　尚且つ、隠れ感染者といわれる発症しない方が、20%から70%くらい居ると言われていて、少なくみても17人くらい居るのではないかと、可能性があるのではないかと思う。この方の行動履歴を見ると阿蘇管内から出ていないようなので、ということは阿蘇に誰かが持ってきて感染しているとなると、もうちょっと周りにいるのではないかと考えられる。みなさん不安が増していくと思います。ぜひ、何かメッセージをお願いします。

教育長（麻生廣文君）　ちょっと話が違うかもしれませんが、保護者などが学校に相談する中に、非常に不安があるということで親の判断で学校に出さなくてもいいかという問い合わせが別の市町村でおきておりまして、その点については資料の8ページ1の出席停止の基準の（5）その他、校長が出席停止を必要と認める場合と

いうところで、12 ページの下に7. 出席停止についての「新型コロナウイルス感染症に関する熊本県教育員会臨時休業等の基準」感染の不安・心配を理由に登校できない児童生徒等の取り扱いについて保護者の同意のもと、校長判断で出席停止として取り扱うことができるということで、校長先生方にはお願いしております。心配で登校できないというご相談があれば校長判断で出席停止にしますので安心してください、無欠席を目指す子供もいるようですので、その点はできたかと思っております。全体的な不安に対してはちょっと検討させていただく必要があるかなと思っております。

教育長（麻生廣文君） 他ございませんか。なければ続いて日程第4「その他」となっております。委員の皆様から何かあればお願いします。

教育長（麻生廣文君） なければ、閉会したいと思います。ご審議ありがとうございました。これをもちまして、令和2年第3回小国町教育委員会会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

（午前10時37分）

小国町教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

令和2年4月 日

小国町教育委員会 教育委員

教育委員

教育委員

教育長

事務局長